

**認定こども園だいいち整備事業設計業務公募型プロポーザル協議  
最優秀提案者及び次点者についての個別講評**

認定こども園だいいち整備事業設計業務  
プロポーザル審査会委員長 森 俊偉

○最優秀提案者（受託候補者）／株式会社 本多都市建築設計事務所

南に正面を向け、諸室を組み込みつつ東西方向に水平に延び広がる門構え風の建築シルエットを成す。南からの陽光を享受し、南北にビューと自然風が抜けるコンパクトで快適性に富む案で、敷地全体にゆとりと開放感を与える計画ともなっていた。ビューが抜け、園舎内部での活動と園庭やグラウンド等の屋外での活動が常に見つつ見られつる関係にあることも敷地全体の一体感を生む上で有効であり、同時に園舎内の諸室もシンプルで効率よく配置されフレキシビリティを保持した案ともなっていた。駐車場の在り方や車での寄りつきにはまだ検討の余地が残るが、園児の歩行アプローチルートや、既存の近隣環境との調和・協調にも配慮が図られていた。

コンパクトで効果的、かつ諸点でバランスの取れた優れた案として多くの支持があった。併せてヒアリングにおいても今後の見通しと対応力を示す応答があり、最優秀提案者（受託候補者）に決定した。

しかし一方で、南側寄りつき部のゆとり、園児たちの多様なアクティビティと活動を誘発する楽しさと賑わいのある空間演出、上下階の連動性及び園舎内諸空間での一体感の強化、多目的室や管理諸室の位置関係の再調整を求める意見もあった。今後、関係部課及び関係者との十分な協議・調整・コスト管理を図りつつ、より充実した施設として具現化していくよう求めます。

○次点者／秋元建築設計室

園児たちのアクティビティと活動内容を子細に分析し、アクティビティの取り扱いそのものを園舎構築のメインテーマ並びに空間構成のメインストラクチャーに据えた、興味と関心を引く案でした。庭空間を逐次挟み込みつつ、変化に富んだ幅広廊下を中央に通し、保育室・多目的室・遊戯室等々での各種アクティビティがこれに絡まり合いつつ重層的に展開する活気に満ちた施設計画となっていた。併せて、切妻傾斜大屋根の連なりも内部空間に抑揚感と一体感を生み出し、案の特徴を補完するものとなっていた。

しかし多くの可能性と魅力を示す一方で、敷地一杯に広がる大屋根が生み出す良悪両面、鉄骨大スパンが生むフレキシブルな大空間の現実的な有用性の有無、近隣環境への配慮提案の不足等の不明瞭な諸点を問題視する意見もあり、ヒアリング時においても十分納得のできる見通しが得られず、次点扱いとなった。